

■茅ヶ崎市障害者保健福祉計画（案）に対する意見一覧

資料

- ・委員の皆様からいただきました御意見は、次のとおりです。（賛同意見は除く。また、誤字等は適宜修正しています。）
- ・発送日時点で市の考え方を示せるものは「修正内容等」に記載させていただき、空欄の項目につきましては第3回（次回）推進委員会でお示し、議論いただいた上での取りまとめを予定しています。
- ・また、これに合わせ事務局でもレイアウトを含む記載内容や誤字脱字を改めて確認しており、現在お示しているものから修正することがあります。（主旨を変えるものではありません。）

番号	章・項		ページ	ご意見	委員	修正内容等【発送日時点】		
1	1 本計画の策定と施策	(1) 基本理念と本市の目指す将来像	3～5	国・県そして市の計画へと一貫性を感じます。前計画を評価し、課題も明確にして、本計画へと繋がられて将来像が描かれていると感じます。将来像の基本方針も重点的に強化するものと支援するものが分かりやすい。今後、計画に沿った実行が何よりも大切かと思います。	眞壁委員	参考意見とさせていただきます。		
2	2 本計画の位置づけ	(1) 法令等における位置づけ	5	成年後見に関することは、「第4期茅ヶ崎市地域福祉計画・第6次茅ヶ崎市地域福祉活動計画・第1期茅ヶ崎市成年後見制度利用促進基本計画」にすべて含まれるのか。	瀧井委員	同計画は、成年後見制度に関する施策について、基本的な計画を定め、必要な体制の整備に努めることを明示するもので、障がい者の方も含まれます。		
3	第1章 3 本計画の全体像	図表4	8	交流の一つであるが、旅行や様々な体験など障害のある方それぞれの楽しみ方を保証するためにも「社会参加・交流」を「社会参加・余暇」に代えてはいかかか。	上杉委員			
4		(1) 基本理念と本市の目指す将来像	基本理念1	9	基本理念の説明文が分かりにくく、類似した内容・表現が繰り返されているように感じる。形容詞や、指示代名詞（それ、その、等）を整理し、簡易な表現に修正をかけてはどうか。全体を通して、障害のない人の社会に障害のある人を受け入れていかなければ、という感覚で文章がつづられているように感じる。少し表現を見直してもらいたい。 ※見直しの項目は、No. 5～10	安田委員		
5				9	1行目 「同じ感性」と表現されていることが不明瞭。感性が違っていると考えている人がいるようには思えず、「同じ権利ともっている」ということで良いのでは？	安田委員		
6				9	2行目 「ともに生きていく」仲間、という表現も違和感があり、市民の一員なので、「市民」が良いのでは。	安田委員		
7				9	2～4行目 「いろいろ」が3回続けて繰り返されていて分かりにくい。また、触れ合う、かどうかは明確ではないので、「共存していく」程度の表現が適切ではないか。	安田委員		
8				9	1行目 「それぞれ」「地域において」は不要ではないか。	安田委員		
9				基本理念2	9	2行目 「その実現」、「その社会」と続くと、何を指しているのかが分かりにくい。 「その（＝共に生きる社会）実現に向けて、その社会が重要であるという考え方や障がいの有無や種別等に関係なく」とした方が分かりやすくないか。	安田委員	

10	第1章	3 本計画の全体像	(1) 基本理念と本市の目指す将来像	基本理念 2	9	3行目 「地域内におけるすべての人々を受け入れ」とありますが、誰が、誰を受け入れると考えての表現なのか、不明瞭です。障害のない人がある人を受け入れる、というのであれば、計画の趣旨と違ってしまう。 社会が受け入れる？と考えると、主体があやふやすぎるように感じる。またともに生きる社会の実現に向けて、実行することが「包み込む社会の周知徹底」というのも、少し実行内容があいまいだと感じます「障がいについての理解を深める」や「支援する人材を育てる」「障がいも持っても健やかに生きる支援」「障害のある子の成長を支援する」という、共に生きるために必要な支援の方向性も文章に加えると良いと思います。	安田委員		
11					9	3行目 「障がいの有無や種別等に関係なく」を「障害の有無や種別、程度に関係なく」に代えてはいいかか。 障害の比較的軽度な人だけでなく、重度の障害のある人も地域のなかで暮らしていく社会を目指すという意味合いをより明確にするため	松永委員		
12					9	(第1回推進委員会後に他の委員と話した中で)「ともに生きる社会の実現」とあるが、この表記だと施設と地域がそれぞれ独立しているように感じられる。重い障がいであっても他の市民とともに地域で暮らしていく想いを込めるのなら、「ともに生きる地域社会の実現」の方が相応しいと思う。	上杉委員		
13			(4) SDGs	①持続可能な開発目標	12	2行目 「地球上の誰一人として取り残さない」が本計画においては重要なことだと思う。そのため、1行目にした方がよいのではないか。	上杉委員		
14					12	SDGsの図中の文字が読み取れないため、図自体をもっと大きくした方がよい。	松永委員	貴見のとおり修正します。	
15			全体	—	—	—	ともに生きることはお互いを知ること。そうすれば、その人の個性を尊重し合えることにつながると思う。	高丸委員	参考意見とさせていただきます。
16	—	本計画の内容がどれだけ周知徹底され、「利用しやすさ」、「近付きやすさ」のためにアクセシビリティを向上させる具体的な実行内容、方法を執れるかだと思います。				飯田委員	参考意見とさせていただきます。		
17	1 身体障がい者及び自立支援医療（更生医療・育成医療）受給者数	(1) 身体障害者手帳所持者数の推移	—	19	図表11 障害者も年代ごとに対応が違ってくるので、この表の年代別内訳も掲載して欲しい。	湊委員			
18				3 精神障がい者及び自立支援医療（精神通院）受給者数	(1) 精神障害者者保健福祉手帳所持者数の推移	24~25	精神保健福祉手帳の所持者数だけで良いので、年齢別内訳を入れてはいいかか。若い世代の手帳所持者が増えているのでは？と感じている。 また、発達障害など先天的な障害のある子どもの手帳取得が進んでいる部分が明確になると思われる。	安田委員	
19						全体	—	—	各障害の手帳所持者数を見れば、身体障害者が微減傾向、対総人口比で見れば約2.5%で、かつ高齢者の比率も高く、今後、益々高齢化が進む中でポイントとなると感じます。 また、将来推計においては、将来を見据えたそれなりの準備（早期発見と支援体制の充実）が必要かと思っています。

20	第3章	2 基本方針2	(1) 施策の方向性： 『すこやかに生きる』	—	38	【主な事業の展開】6行目 「…幼稚園・保育園・学校・児童クラブ」を「幼稚園・保育園・学校・児童クラブ・放課後等デイサービス」に代えてはいかがか。 この文脈を見ると、放課後等デイサービスも重要な連携先であると思われるので。	松永委員	
21		3 基本方針3	(1) 施策の方向性： 『住まう』	—	39	【残された課題】1行目 「親なき後を見据えた中で、…」を「障がい者の地域での自立した生活の実現や親なき後を見据えた中で、…」に代えてはいかがか。 グループホーム（共同生活援助）は、障害がある人の親なき後の生活のためにあるという役割というよりは、地域での自立した生活を支えるためのものであるため。また、障害のある人の「自立」とは、自分の意思に基づき、支援をうけながら生活することも含み、グループホームは本人が地域で、自立した生活をおくることを支えるものであるため。 ※62ページの枠内の表現も同じ	松永委員	
22			(2) 施策の方向性： 『生活する・利用する』	—	40	【残された課題】2～3行目 「通院介助、服薬管理、日中活動の場の確保、金銭管理等」を「通院介助、服薬管理、日中活動の場の確保、外出の支援、金銭管理等」に代えてはいかがか。 外出の支援は地域での生活を支えるための必要性が高いので明記した方がよい。	松永委員	
23			(1) 施策の方向性： 『学ぶ』	—	44	【主な事業の展開】2段落目－4行目 教育側に福祉の仕組みの説明をしたのは、そだちの支援部会ではなく、後継のつながり支援部会が行いました。	譲原委員	貴見のとおり修正します。
24					44	【主な事業の展開】2段落目－6行目 「市内の通所事業所より～」と書いてありますが、福祉側の発表を行ったのは通所事業所だけでなく、障害福祉課、相談支援事業所も行ったので「通所事業所等より～」の方がよいのではないのでしょうか。	譲原委員	貴見のとおり修正します。
25					44	【主な事業の展開】2段落目－最終行 「教育委員会より～」の一文は「教育委員会からも教育側の仕組みを福祉関係者に伝える勉強会を開催し、双方で学び合う機会を作りました」のが良いのではないのでしょうか。 原文だと教育側の仕組みだけ双方で学び合ったような文になっているかと思えます。	譲原委員	貴見のとおり修正します。
26					44	【主な事業の展開】4段落目 下段の巡回相談については、切れ目のない支援の充実というより、支援者が発達特性や必要な支援について理解し、支援力を上げていくために行っているのではないのでしょうか。	譲原委員	
27					44	【主な事業の展開】5段落目 学童保育の会がつながり支援部会に加わったのは、通所事業所との連携が増えたからではなく、学童の中にも支援が必要な児童が増えていて、教育機関や福祉機関との連携の必要性が増しているからだと思います。	譲原委員	
28					44	【主な事業の展開】5段落目 令和2年度から学童保育の会が加わりましたが、現時点で定例会は開催されていませんし、今後も不確定な部分が多いので、「協議会を開催しました」ではなく、「市の障がい児支援について引き続き検討していくこととなりました」というような表現に留めておいた方が良いのではないのでしょうか。	譲原委員	
29		基本方針6			(1) 安心して暮らす	—	46	【主な事業の展開】5段落目－2行目 「～、有事の際にこの名簿を使用…」を「～、災害時にこの名簿を使用…」に代えてはいかがか。 「有事」ではなく「災害時」ということではないのでしょうか。「有事」というと「有事立法」のように、主に戦争時を想定するのですが、災害対策基本法に基づく避難行動要支援者制度に戦争時が含まれているのか疑問なため。

30	第3章	全体	—	—	—	現場の状況、障がい者の日常生活の実情が第5期計画でどう良くなったのか。数字では見えない状況、現場の声、障がい者の声をどのように受け止められるか。	飯田委員	参考意見とさせていただきます。		
31					—	—	—	目指す将来像に対して、基本理念をもとに基本方針6の支援体制の強化・健康体制・生活基盤の「強化」、自己実現や子どもの成長「支援」、そして安全安心なまちづくりの「推進」へと計画から振り返りが分かりやすく説明されています。次にやるべきことが見えます。	眞壁委員	参考意見とさせていただきます。
32					—	—	—	残された課題としてそれぞれまとめられているので、次へのステップが分かりやすいです。	守屋委員	参考意見とさせていただきます。
33	第4章	2 本計画において取り組むべき課題と施策の展開	基本方針1	1-1 知る	53	「広報ちがさき」に障がい者のことを知ってもらうコーナー（質問、アンケート。今こんなことをしている、特技や自慢等）待つだけではなく、障がい者が自ら情報発信することも良いと思います。	高丸委員	参考意見とさせていただきます。		
34					53	「基本理念3 自主性・主体性の確立の支援」に基づく内容と思われるが、理念につながる目的性が示されていない。自主性・主体性の確立は昨今の「意思決定支援」の考え方においても大事な要素なので、1-1「知る」、1-2「相談する」の項目で関連性を示す必要があるのではないか。	安田委員			
35					53	「かみ砕き（読解）の事例」にはどのような写真、図が入るのか。	瀧井委員	「かみ砕き」の事例を掲載することを想定しています。		
36					53	支援体制の強化については、それぞれの障害の特性を理解して情報を発信することがまずは大事かと思えます。紙媒体の情報も大事ですが、隅々までなかなか見えていない、読めていないのかと思えます。さらにひと工夫必要だと感じます。	眞壁委員	参考意見とさせていただきます。		
37				1-3 理解を深める	57	ヘルプマークの普及、ヘルプマーク以外の普及も必要だと思います。たとえばすべての障がいに関わるマークを1枚のポスターにまとめ、官民の施設に掲載できれば良いと思います。	飯田委員	参考意見とさせていただきます。		
38				1-4 育てる	58	【ヒアリング調査・自立支援協議会・事業所アンケートからの主なご意見】3つ目の「・」「施設職員等は支援者も…」を「施設職員等の支援者も…」に代えてはいいかがか。誤字と思われる。原案だと意味がよくわからない。	松永委員	貴見のとおり修正します。		
39				基本方針2	2-1 すこやかに生きる	60	【課題を踏まえた上での施策の展開】3つ目の「・」健康を支える体制の強化については、「まずは健康でなければ」と考え、地域の身近な場所にどのような障害であれ、医療サービスができることが基本だと思います。そのような体制を早急に整備することが大切です。	眞壁委員	参考意見とさせていただきます。	
40				基本方針3	3-1 住まう	62	【課題を踏まえた上での施策の展開】3-1-1 障がい特性や高齢化に応じた住まいの確保「神奈川県等へ入所施設の新設に向けた働きかけを継続的に実施します」とあるが、これは国の方針と違っていないか。	瀧井委員		
41						62	【課題を踏まえた上での施策の展開】3-1-2 親亡き後を見越した障がい者の支援「親亡き後」か「親なき後」か、統一した方がよいと思われる。（39ページほか、文中に両方の記載がある。）	松永委員	貴見のとおり修正します。	
42						62	【課題を踏まえた上での施策の展開】3-1-2 親亡き後を見越した障がい者の支援「徐々に共同生活へ順応していく」を「徐々に家庭から自立した生活へ」に代えてはいいかがか。グループホームは共同生活へ順応させるものではなく、あくまでも個別の生活支援が基本であり、目的は地域で家庭から自立した生活を支援を受けながら生活を送ることであるため。この記述はグループホームについて誤った認識に基づいていると思います。	松永委員	貴見のとおり修正します。	
43	62	アンケートでも「グループホームの職員の支援が不足」、「家庭での支援をヘルパーに担って欲しい」という意見が挙がっています。人材不足の折から難度は高いですが、ホームヘルパーの支援を確保していく施策を加える必要があると考えます。	安田委員							
44	—	—	—	—	グループホーム等の入居希望者に対し、入居へのステップとして空き家活用（短期間講習）を試みるのはいかがでしょうか。	高丸委員	参考意見とさせていただきます。			

45	第4章	2 本計画において取り組むべき課題と施策の展開	基本方針3	3-3 人権を守る	66	【課題を踏まえた上での施策の展開】3-3-2 障がい者の人権を守るための施策の充実 成年後見については前計画の振り返り(41ページ)でも触れられており、また、現在、策定を進めている茅ヶ崎市地域福祉計画でも新たな章として大きく取り上げていますが、本計画ではどのように取り上げるのでしょうか。	瀧井委員		
46					—	生活基盤の強化については、障がい者の方には人権が守られて、安心して生活できることが何よりかと思えます。将来的に不安を感じている方には特にどのようなところで暮らしたいかを十分に理解して、相談に乗れることが大切と感じます。	眞壁委員	参考意見とさせていただきます。	
47					—	高齢化する社会、「差別」という言葉の意味、何が差別かの認識、日常生活の中での実情把握が今、そして将来に継続して本計画が良いものになることを。紙の上ではなく。	飯田委員	参考意見とさせていただきます。	
48			基本方針4	4-1 働く	—	障がいの特性(たとえば「真面目」、「集中力がある」など)を生かし、認めてあげることで働く意欲が持て、自信につながっていくと思います。また、周りの理解も必要だが、これが仲間づくりにもつながると思う。	高丸委員	参考意見とさせていただきます。	
49					—	障がい者の働く意欲の向上やスキルアップの支援について、民間事業者が主催する資格取得のための講座の場合、本来は主催者が手話通訳者等を手配するなどの合理的配慮をすべきにもかかわらず、ほとんど浸透していないと思います。そのため、受講者が自己負担で手話通訳者等を手配しなければならぬという事例があります。障がい者も環境が整っていれば優秀な人材となり得ます。主催者側の障がい者への理解不足と金銭的な課題があるのではないのでしょうか。	湊委員	参考意見とさせていただきます。	
50					—	社会参加と自己実現への支援については、当事者の意欲と企業側の理解で就労機会の拡大を図る。また、定着には当事者と企業への支援体制の充実が継続への道と感じます。	眞壁委員	参考意見とさせていただきます。	
51					4-2 社会参加・交流	70	【課題を踏まえた上での施策の展開】2つ目の「・」 「連れ出し支援」という言葉ですが、もし日常的に使われていないのであれば表現を変えた方が良いと思います。	安田委員	
52						—	小・中学校の子どもたちに障がい者への理解を深める施策を講ずるべきと考えます。現在でも小・中学校が推進する「総合学習」の一環で福祉を体験し、学ぶ機会がつけられていますが、すべての子どもたちに行き渡るよう継続して欲しいと思います。子どもたちの特性である順応性の高さを生かし、障がいへの理解を進め、将来、大人になっても障がい者をこく自然に受け入れられるような新しい世代が育つような環境づくりが大切だと考えます。	湊委員	参考意見とさせていただきます。
53			基本方針5	5-1 学ぶ	72	□内 2つ目の「○」 「○教員の専門性の向上と障がい理解の促進」を「教員の障害理解の促進と障害児等の配慮を要する生徒の個々に応じた支援の向上」に代えてはいかがか。 ここでいう「教員」とは、小・中学校等の普通級の教員も対象にしているので、特別支援教育が専門とは限らない。たとえば数学の教員の専門性は、数学の理解とそれをどう教えるかなので、その教員の「専門性の向上」と表現できないのではないかと、思うので。	松永委員		
54					72	【課題を踏まえた上での施策の展開】5-1-1 就学前から就学後までの切れ目のない支援 障害のある子どもの成長支援については、子どもは特に「障がいの早期発見」が重要かと思えます。そして、就学前から将来の進路まで切れ目のない継続の支援が必要です。	眞壁委員	参考意見とさせていただきます。	
55					—	障害のある子どもの放課後の過ごし方についても議論すべきと考えています。聴覚障がい児の場合、当市から隣の県立平塚ろう学校、その他の特別支援学校に通う子どもたちは近所のお付き合いや一般的な放課後等デイサービスを利用することが難しいと聞いています。学校だけでなく、放課後の障がい児の実態を把握する必要があると考えます。また、特別支援学校に通う子どもたちと小・中学校に通う子どもたちとの交流も積極的に進めることも互いの成長につながると思います。	湊委員	参考意見とさせていただきます。	

56	第4章	2. 本計画において取り組むべき課題と施策の展開	基本方針6	6-1 安心して暮らす	—	避難の方法として、避難所や在宅避難等が掲載されていますが、お寺や神社は地盤がしっかりしていて良いとお聞きしている。	高丸委員	参考意見とさせていただきます。		
57					—	安全・安心なまちづくりの推進については、まずはできる限りのバリアフリー化で安心して暮らせることが基本です。さらに昨今の自然災害時の障がい者への支援体制（避難所等）を強化・確立することが急務です。	眞壁委員	参考意見とさせていただきます。		
58		全体	—	—	—	—	表題の横にあるSDGsの図中の文字が読み取れないため、図自体をもっと大きくした方がよい。	松永委員	貴見のとおり修正します。	
59			—	—	—	—	基本方針それぞれにおいて課題が見やすく配置され、分かりやすく構成されています。全体的に見やすく、まとめられていると感じました。	守屋委員	参考意見とさせていただきます。	
60	第5章	1 障害福祉計画における成果目標	全体	—	—	国の基本方針と市の過去の実績を考慮して目標設定され、福祉施設入所者には共同生活援助、また、精神障がい者にはケアシステムの構築と確実に実施しなければならない目標だと思います。	眞壁委員	参考意見とさせていただきます。		
61		2 障害福祉サービスの見込み量	(4) 相談支援サービス	—	85	—	昨年度までの自立支援協議会相談支援部会の提案書を検討の上、目標数値を検討していただきたい。	安田委員		
62	第6章	1 障害児福祉計画における成果目標	(1) 重層的な地域支援体制の構築を目指すための…	—	95	—	受け入れる側（保育園、幼稚園、小学校）の理解と協力を得る取り組みが必要だと思います。また、そもそもこの事業の存在や内容があまり知られていない状況もありますので、内容や必要性について周知するような取り組みも必要だと思います。	譲原委員	参考意見とさせていただきます。（この指標は、国が法に基づき計画に載せるべき項目・内容を示しているため。）	
63		2 障害児福祉サービスの見込み量	(3) 障害児相談支援	—	98	—	昨年度までの自立支援協議会相談支援部会の提案書を検討の上、目標数値を検討していただきたい。	安田委員		
64					98	—	令和元年度の計画数はセルフプランを除いた計画相談の数だと思いますが、本当に539件もあったのでしょうか。	譲原委員		
65					98	—	計画相談については計画の量を追う前に、セルフ補助も含めた計画相談体制の構築や相談員を増やす取り組みということを目標や見込み量に組み込んだ方が良いでしょう。	譲原委員	参考意見とさせていただきます。（この指標は、国が法に基づき計画に載せるべき項目・内容を示しているため。）	
66		全体	—	—	—	—	「1 …成果目標」と「2 …見込み量」の内容が一致（連動）していないようにも思うのですが、それは構わないのでしょうか。また見込み量というのはそこを目指す、というより単純に予測量ということでしょうか。	譲原委員	参考意見とさせていただきます。（この指標は、国が法に基づき計画に載せるべき項目・内容を示しているため。）	
67	その他	—	—	—	—	—	介護を必要とする高齢の障がい者について、それぞれの障がいに配慮した高齢者施設はどうあるべきか課題として取り上げていただきたいと思います。	湊委員	参考意見とさせていただきます。	
68		—	—	—	—	—	（新型コロナウイルス感染症の影響ではあるが）今回のように個別事業を掲載するより、施策の展開がまとめられていた方が分かりやすいと思います。	高丸委員	参考意見とさせていただきます。	
69		—	—	—	—	—	—	今回のように写真等を掲載することはとても良い（分かりやすくなる）と思います。	高丸委員	参考意見とさせていただきます。
70		—	—	—	—	—	—	この計画が高い実現率になればよいと思います。日常生活の中での小枝、落ち葉が置き去りにされることのないようにと思っています。	飯田委員	参考意見とさせていただきます。
71		—	—	—	—	—	—	こんなに厚い冊子で、多くの人が手に取って、本当にこの通り実行できるのでしょうか。難しい言葉を沢山並べただけで読む気にならないかもしれません。もっと簡潔にした方が良いでしょう。	田尻委員	参考意見とさせていただきます。